

= 支部だより =

北海道支部

北海道支部活動報告

2010 年度日本雪氷学会北海道支部春の講演会

4 月 23 日、北海道支部・春の講演会が札幌エルプラザにて開催されました。今年は、エネルギー資源として注目を浴びるメタンハイドレートに関して海老沼孝郎氏（産業技術総合研究所）から、札幌のつつる路面での転倒事故に関して金田安弘氏（北海道開発技術センター）から、それぞれ興味深い講演がなされました。「中高齢」、「飲酒」、「金曜の夜」がつつる路面転倒のキーワードです。お気をつけ下さい。

・開催日時：2010 年 4 月 23 日（金）13：30-15：00

・開催場所：札幌エルプラザ 大研修室

・出席者：43 名

・講演：

－「メタンハイドレートの生産手法開発」

（独）産業技術総合研究所 海老沼孝郎氏

－「つつる路面と転倒事故をめぐる最近の話題」

（社）北海道開発技術センター 金田安弘氏



写真 1 海老沼氏による講演の様子

2010 年度日本雪氷学会北海道支部総会

春の講演会に引き続き、2010 年度支部総会が開催されました。昨年度の事業報告・会計報告、今

年度の事業計画案・収支予算案が審議され、2010 年度の新しい役員が選出されました。

・開催日時：2010 年 4 月 23 日（金）15：25-16：00

・開催場所：札幌エルプラザ 大研修室

・出席者：26 名

・議 事：

(1) 2009 年度事業報告・収支決算報告

(2) 2010 年度事業計画案・収支予算案

(3) 2010 年度支部役員について

・審 議

(1) 議長として秋田谷英次会員が選出され、山田支部長からの挨拶に続いて審議がなされた。

(2) 2009 年度事業報告・収支決算報告

松澤総務担当理事より、資料 1 および参考資料 1 に基づき 2009 年度事業報告が説明され、異議無く承認された。次ぎに、飯塚会計担当理事より、資料 2 に基づき 2009 年度収支決算報告が説明され、異議無く承認された。竹内監事より 2009 年度の収支計算書、財産目録を監査した結果、正確妥当であること、支部事業についても 2009 年度事業報告の通り、適正に実施されたとの監査報告がなされた。

(3) 2010 年度事業計画案・収支予算案

松澤総務担当理事より、資料 3 に基づき 2010 年度事業計画案の説明があり、異議無く原案通り承認された。次いで、飯塚会計担当理事より、資料 4 に基づき、2010 年度収支予算案の説明があり、異議無く原案通り承認された。

(4) 2010 年度支部役員について

2010 年度の理事・監事について会場に推薦が求められた。小松会員が高橋会員より推薦され、異議無く承認された。さらに松澤総務担当理事より事務局案が示され、異議無く承認された。

(5) その他

事務局および出席者から、特段の発議はなく、

総会は閉会された。

当日の配布資料、議事録は HP にて閲覧頂けます
(<http://www.seppyo.org/hokkaido/Report/assembly/2010>)。どうぞご利用下さい。

2010 年度日本雪氷学会北海道支部役員

支部長：高橋修平（北見工業大学）

理事：金田安弘（北海道開発技術センター）、松澤 勝（土木研究所・寒地土木研究所）、原田裕介（アルゴス）、杉山 慎（北海道大学）、丹治和博（気象協会）、小松麻美（気象協会）、澤柿教伸（北海道大学）、山田高嗣（札幌第一高等学校）、外塚信（ネクスコ・エンジニアリング北海道）、榎本浩之（北見工業大学）、久保雅弘（北海道電力）、亀田貴雄（北見工業大学）、深見浩司（地質研究所）、苫米地司（北海道工業大学）、古川義純（北海道大学）、山野井克己（森林総合研究所）、中村一樹（北海道大学）

2010 年度日本雪氷学会北海道支部研究発表会

2010 年度の支部研究発表会が、以下の要領で開催されました。広い研究分野から 22 件の口頭発表があり、終日にわたって熱心な討論がなされました。発表内容は論文化され、今秋発行予定の「北海道の雪氷」第 29 号に掲載される予定です。

- ・開催日時：2010 年 6 月 9 日（水）10：00-17：30
- ・開催場所：北海道大学 学術交流会館 小講堂
- ・出席者：106 名
- ・発表プログラム

Session I（雪崩・吹雪）：10：05-11：05

ー2010 年 1 月に尻別岳で発生した雪崩の調査報告，澤柿教伸（北海道大学）他
ー2010 年 2 月下旬に広域に発生した全層雪崩について，中村一樹（北大地球環境科学研究院）他
ー3D レーザースキャナを用いた模擬住宅地の吹きだまり測定，飯沼弘一・（野外科学）他

Session II（防雪柵・林）：11：10-11：55

ー粗度区分を考慮した防雪柵の設計風速に関する検討，伊東靖彦（寒地土木研究所）他
ー成林しつつある道路防雪林の維持管理手法について～一般国道 40 号天塩町雄信内の事例より～，阿部正明（北海道開発技術センター）他
ー防雪林を構成する木々の下枝の枯れ上がりとその

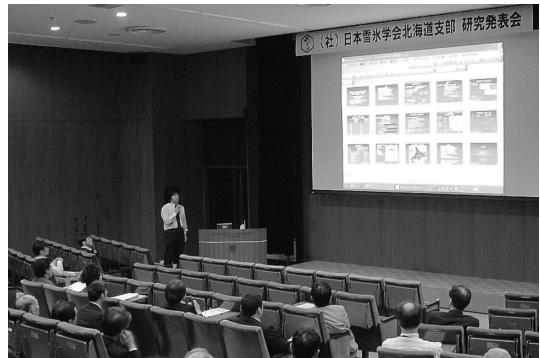


写真 2 伊東氏による口頭発表の様子

の対策について，斎藤新一郎（北海道開発技術センター）

Session III（降・積雪の物理）：13：00-14：00

ー着雪発達過程のシミュレーション計算法の妥当性評価，渡邊幸樹（北海道電力総合研究所）他
ー偏光干渉色による雪結晶の顕微鏡カラー写真撮影，油川英明（北海道教育大学大雪山自然教育研究施設）他

ーリング付きベーン試験器による剪断強度測定精度の検証，日下 稜（北見工業大学）他
ー積雪の間隙特性に関する一考察，荒川逸人（野外科学）他

Session IV（積雪・氷河・海水）：14：05-15：05

ー地中探査レーダー（GPR）による知床峠の積雪観測（2010 年），若林剛（北見工業大学）他
ー2009 年ネパールヒマラヤ・ヤラ氷河における氷厚探査，刀根賢太（北海道大学）他
ーアラスカにおける冬季地表面の冷却過程の観測結果，中村文彬（北見工業大学）他
ー夏期北極海氷上におけるメルトポンド分布，田中康弘（北見工業大学）他

Session V（道路 I）：15：20-16：20

ーアラスカにおける凍結路面の光学的特性観測，Nuerasimuguli Alimasi（北見工業大学）他
ーつるつる路面による冬季歩行者転倒防止の取り組みについて，金村直俊（札幌総合情報センター）他
ーマイクロ波放射計を用いた冬期路面の状態判別と摩擦抵抗の測定，渡邊直樹（北見工業大学）他
ー冬期道路管理における定量的指標の導入と活用について，高田哲哉（寒地土木研究所）他



写真 3 熱心な議論が展開されました

Session VI (道路Ⅱ・雪害): 16:25-17:25

—冬期道路管理における定量的指標の導入と活用について, 高橋尚人(寒地土木研究所) 他
—精糖残渣(ライムケーキ)を活用したすべり止め材の効率的な散布方法に関する研究, 大日向昭彦(寒地土木研究所) 他

—2010年1月17日に北海道石狩中部で局地的に発生した大雪(その1) —概要および雪氷災害調査—, 尾関俊浩(北海道教育大学札幌校) 他

—2010年1月17日に北海道石狩中部で局地的に発生した大雪(その2) —豪雪時の降雪の特徴—, 金村直俊(札幌総合情報センター) 他

以上の発表プログラムと要旨はこちらでご覧になれます (<http://www.seppyo.org/hokkaido/>

Report/conference/2010).

北海道支部機関誌「北海道の雪氷」発刊のご案内

2010年度北海道支部研究発表会での発表論文を掲載した「北海道の雪氷」第29号が今秋出版予定です。「北海道の雪氷」は北海道支部ホームページ上にて閲覧可能です (<http://www.seppyo.org/hokkaido/publications/journal/jcontents>). 冊子体をご希望の方は有料で配布しますので支部HPの注文サイトから申込み願います (<http://www.earth.ees.hokudai.ac.jp/snow/>).

青田昌秋氏の支部50周年記念誌への寄稿がベストエッセイ集に選出

北海道支部50周年記念誌「雪氷研究の系譜」(2009年発行)に掲載された青田昌秋会員による「流氷祈願祭今昔」が, 日本エッセイスト・クラブが選ぶベストエッセイのひとつに選出されました. 同クラブによるベストエッセイの選出は今回で28年目. プロ・アマを問わず, 雑誌や新聞などに発表された作品から秀作50余編が選ばれます. 選出作品は8月末に単行本として出版予定で, 池澤夏樹さん, 雨宮処凛さん, 小泉今日子さんらと並んで青田氏の作品が掲載される予定です.

(北海道大学低温科学研究所 杉山 慎 記)

(2010年6月29日受付)